

金融市場NOW

デンマーク家計の金融資産拡大が続く

負債比率が緩やかに低下する中で金融資産の拡大が続く

- ▶ デンマーク家計が抱える負債の比率（対可処分所得比）は、2017年時点でOECD加盟35カ国中最大。但し、リーマン・ショック頃をピークに低下傾向となっている。
- ▶ 金融資産の負債に対する超過幅が拡大傾向を続けている。金融波乱時等にデンマーク家計を下支えする可能性も。

～ デンマーク家計の負債比率 ～

- デンマーク家計が抱える負債の比率（対可処分所得比）は2017年時点で282%と、リーマン・ショック頃の340%よりは低下してはいますが、OECD（経済協力開発機構）加盟35カ国の中では最も高い水準となっています（図表1、3）。
- 尚、主な北欧諸国（デンマークを含む5カ国）の同比率は総じて高くなっています（図表1）。

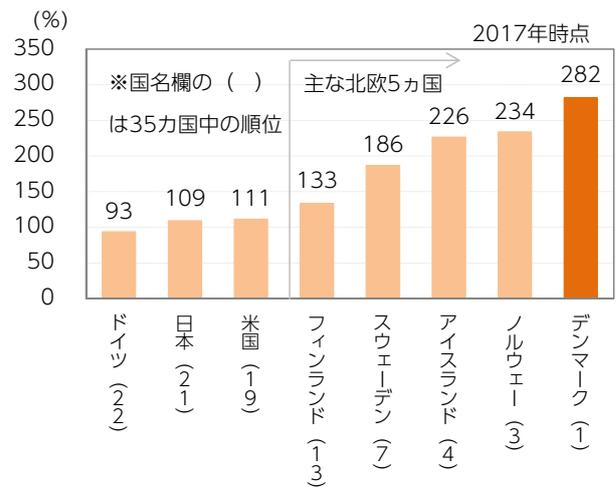
～ 税負担率の高いデンマーク ～

- デンマーク等の北欧諸国の家計負債比率が相対的に高い要因の一つとして、税負担率の高さが挙げられるものと思われます。2016年時点のデンマークの税負担率は対GDP（国内総生産）比で45.9%とOECD加盟35カ国中もっとも高くなっています（図表2）。
- 高福祉・高負担国家の一つとされるデンマークでは、1983年以降40%を超える税負担率が続いています。税金の支払いで自由に使える可処分所得が減少し、車や住宅等を購入する場合にローンを利用するケースが多くなっているものと思われます（図表2）。

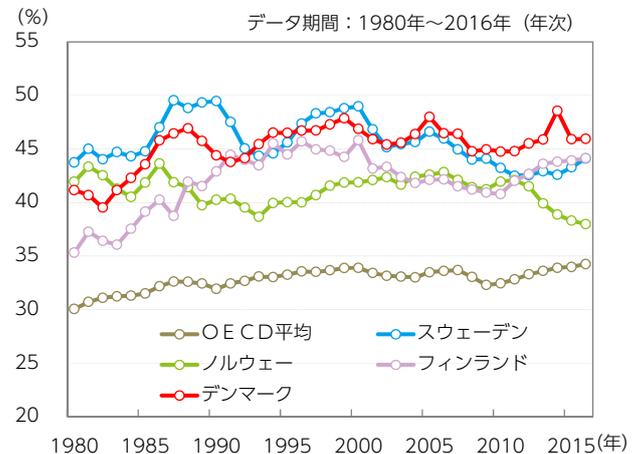
～ 負債を上回るデンマーク家計の金融資産 ～

- デンマーク家計の負債（対可処分所得比）がリーマン・ショック頃をピークに緩やかに低下する一方で、株価の上昇等を背景に金融資産（対可処分所得比）は増加傾向を続けています。ネット資産比率（金融資産比率－負債比率）は2008年をボトムに拡大基調となり、2017年時点ではプラス213%と1995年以降では過去最大となっています。
- ネット資産比率はリーマン・ショック前の2005～06年頃の倍近くに拡大しており、金融波乱時等にデンマーク家計を下支えする役割を果たす可能性もあります（図表3）。
- 尚、2017年時点の金融資産の資産別構成は、保険：28%、株式：23%、年金：22%、現預金：16%、投信：8%、その他：3%となっています。

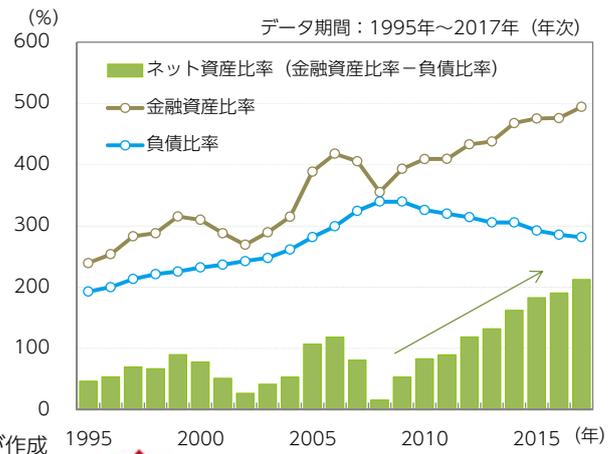
図表1：家計の負債比率（対可処分所得比）



図表2：デンマーク等の税負担率（対GDP比）



図表3：デンマークのネット資産比率（対可処分所得比）



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>